

読む人の心を願って

みんな晴れ晴れ

ある県の加盟店が力をあわせて開いた「ダスキンファミリー大会」に行ってきました。とくに日頃お客様と接している担当者いろいろな現場で働いている人たちに楽しんでもらおうという内輪の集まりでしたが、二年前から準備をしていたそうです。六百名を越す参加で、たいへんな盛り上がりようでした。すべて手作りのイベントで、商品名を題材にした創作ミュージカルや、懇親会ではお客様係のご主人たちのバンド演奏などもとびだしました。喜んでもらいたいとの一心がそこそこに見られて、あつい気持ちになりました。

昨今はネットでのショッピングが広がって、便利ではありますがそこには人と人とのふれあいはありません。

やはり「手作り」に勝る愛情はないと思います。手間をかけることを「やらされている」と思えば面倒な気持ちになりますが、こころを込めて「やってあげたい」という先には、相手の方の笑顔がうかがえます。掛ける時間は同じでも、「させていただく」「やってあげたい」と思うことで、気持ちは青空のように澄みわたるのではないでしょう。大会に参加された社員やお客様係も、そして一生懸命に企画し実行したスタッフも、みんな晴れ晴れとした気持ちの良い笑顔でした。

no.525

喜びの タネまき 新聞

写真・阿部高嗣
のどかな冬の日



一年の終わるころからお正月にかけて、家族にはいろいろなイベントがある。思い出すあの姿、この姿、なつかしさがよみがえってくる時期…。

「おじいさんのイベント」

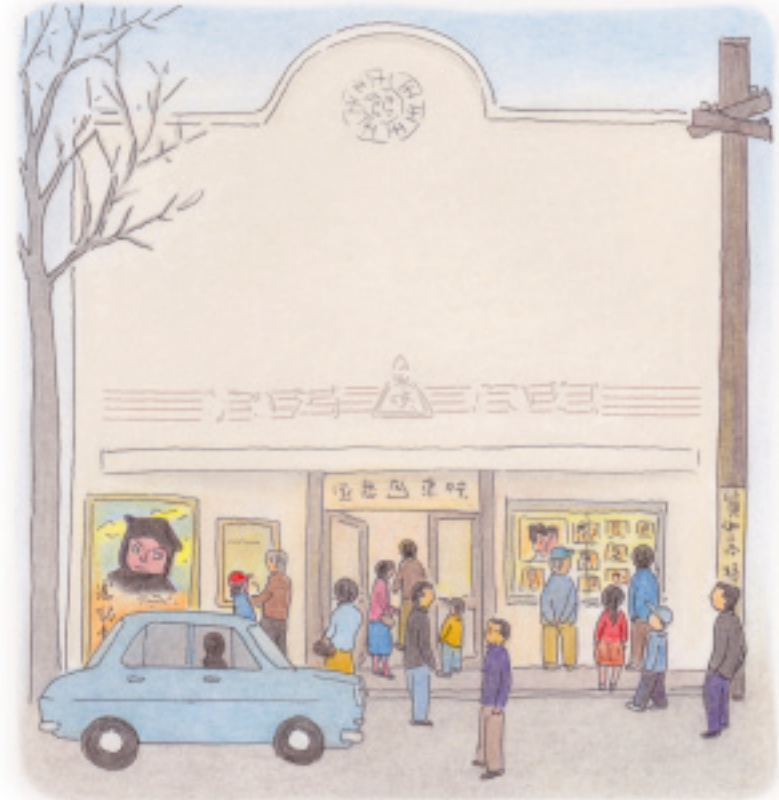
明治生まれのおじいさんは頑固だった。子ども心に強烈に記憶にあるのが、生涯ふんどしを愛用していたこと。パンツをすすめても見向きもなかったという。頑固なうえに口下手で、ふだんはあまり喋らなかった。

ところが酒が入ると、うつて変わって好き勝手なことを言い放った。当然理不尽な要求も付き物。その度に母を困惑させた。ほくや弟には怒鳴ったりすることはなかったが、かといって甘やかすこともなかった。

楽しみは映画と旅行。テレビ普

及前の映画の全盛期、隣町にある三軒の映画館は観客でゴッタ返していた。おじいさんはなぜか、映画館に行くときはほくを連れ出した。勧善懲悪の時代劇が好きだった。

ごひいきの役者が登場すると「よっ、錦之助」と、スクリーンに向かって声を張り上げた。すると、あちこちの客席から同じように声がかかった。映画の前は芝居に慣れ親しみ、舞台と観客が通じ合う自然な呼吸があつたのだろう。一緒にいると、ただ恥ずかしかったが、映画は楽し



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、『お江戸超低山さんぽ』(書肆侃侃房)、『森のくらし』(リヨン社)など。

かった。次の日にはチャンバラごっこ

に夢中になっているほくだった。

家にいないと旅行である。おじいさん、お土産だけは忘れない。長野の善光寺参りの土産は龍の彫り物付きの硯だった。それは小学生には立派すぎて、どう喜びを現せばいいのかぼくは悩んだ。上州の温泉の時は遠心力を利用した「地球ゴマ」なる土産。ちよつとメカニカルな玩具で、これには心を揺さぶられた。今思うと、孫の顔を思い浮かべながら選んでくれたのかもしれない。

子供には不思議な人だったが、ひとつ目覚ましいことがあった。菩提寺を大切にして、お墓の手入れは完璧。坊さんに気に入られ檀家を回る際によく同行していた。

そして、最大のイベントは除夜の鐘。たったひとり鐘楼に上がり、おじいさんは108回の鐘を撞いた。晴れ舞台の役者のような姿だった。

お腹にやさしい、ふつくら味

「餅と長いもの和風グラタン」

ホワイトソースの代わりに長いものを使い、ベースになるのはお餅。手軽でさっぱりとした美味しさの和風グラタンです。長いものが消化を助けてお腹にやさしいので、受験生の夜食やお年寄りにも最適です。

お料理研究家 こいけりえ

◎作り方(1人前)
切り餅2個は一つを4等分に切ってトースターや網で焼いておく。お餅を焼くときは、間隔をあけて焼くと、膨らんだときにくつきません。

長いもの200gは、皮を剥いてすりおろしておく。すりおろした長いものは、すり鉢に入れて、だしつゆ、しょう油各小さじ1を入れ、すりこぎでよく混ぜ合わせる。すり鉢がない場合は、ボウルに入れて、ゴムべらなどをを使いまんべんなく混ぜるようにする。一人用のグラタン皿全体にバターを塗っておく。その中に焼き餅を並べて入れ、上から味つけした長いものをかける。さらにその上からピザ用チーズ30gを全体にかける。

事前に220℃〜250℃に温めておいたオーブントースターに入れ、チーズにこんがり焼き色がつくよう、10〜12分焼く。

◎盛り付け

焼き上がったグラタンは、上から刻み海苔少々をかけて完成です。海苔は韓国海苔でもよく合います。

もう少し刺激が欲しいという方には、お好みの量の明太子をすりおろした長いものに混ぜ、チーズをかけて焼く、明太子グラタンもおすすめ。すりこぎでよく混ぜ合わせるのがポイントです。

ゆで卵の輪切りをトッピングしたり、自己流のアレンジでやさしい味のグラタンを、是非アツアツでお召し上がりください。



東北を歩こう！

福島県

会津ゾーン

【会津絵ろうそくまつり】

2013年2月8日(金)〜9日(土)

会津の伝統的工芸品「会津絵ろうそく」。職人が1本1本に季節の草花を色鮮やかに描いた会津絵ろうそくの製造工程は、芯づくりに始まりすべて手作業。鶴ヶ城や御菜園をはじめ市内各所に約7000本灯ります。幻想的な雪景色の中、御菜園では琴や横笛の生演奏が楽しめます。

◎場所 福島県会津若松市追手町1-1(鶴ヶ城)
◎問合せ先 会津若松観光物産協会インフォメーションセンター
電話・0242-1365043

山形県

最上ゾーン

【新庄雪まつり】2013年2月9日(土)〜10日(日)

巨大雪像展示、雪上相撲大会、雪玉合戦、もぎのうまいものを集めた「新庄食楽くら」市場」など他にもイベントが盛りだくさん。

◎場所 山形県新庄市堀端町4-74 最上公園 一帯
◎問合せ先 新庄雪まつり実行委員会
電話・0233-2226855

<http://www.visitjapan-tohoku.org/>

おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



お料理研究家 こいけりえ



好物は南部せんべいのウサギちゃん
埼玉県越谷市
松田富士乃

「俺りんスター」
青森市 館山生木

お尻かじってやる!
千葉県松戸市 中野ふさあ

みてもらおう!!

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。



お客さんから楽しみを
もらっています

五平餅と焼き芋の店

福 福

(岐阜県)



壺焼き芋の壺が並ぶ入り口。

還暦の同窓会で再会してパートナーとなった二人。

鹿児島県出身、焼き芋。

ぴたりと決まり過ぎて、なんだか焼けちゃいます。マイペースで人生を楽しむお店をお訪ねして、元気で前向きなお話をうかがいました。

特に鹿児島は、昔から男女は別々で、「口でもきこうもんなら、大変だった」と吉田さん。互いに結婚相手を亡くした後で、再会した時、加藤さんは岐阜で洋品店を、吉田さんは千葉で鉄工所を営んでいた。

同窓会で出会ってから一緒に暮らしたが、約3年前に岐阜市に移り、「残った人生を、自分なりにがんばって素敵にしたい」という思いから、二人でお店を開くことに…。

かつて繊維産業でにぎわった岐阜市も、今はお店が次々とシャッターを閉め「開いていると高齢の方が働いているお店が多いんです」。

真向かいの寄り合いマーケットでも、カシワ、魚、野菜やお総菜など、それぞれに売りながら「元氣があるね」「今日は元氣なさそうだね」と言葉をかけあい、ふれあいを大切にしている。見ていて、飲食店がいいと思ったそうだ。

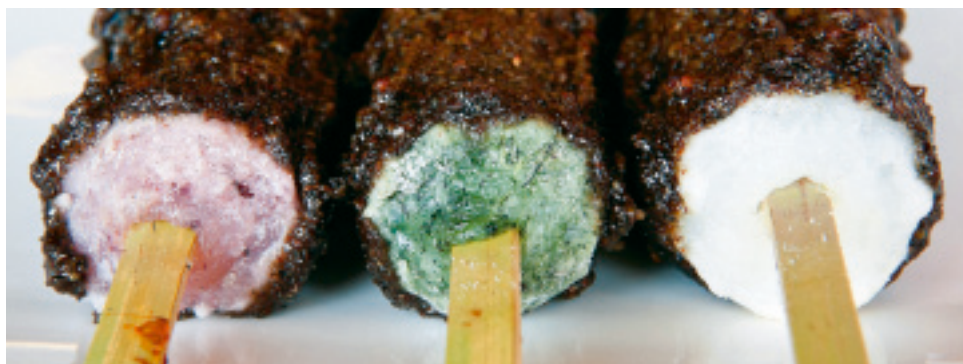
何にしようか——話し合って、岐阜県の郷土食の五平餅と、故郷の鹿児島の焼き芋に。体力も考えて持ち帰り店にし、ほぼ自力で加藤さんの息子さんの手も借りて改装した。

改装のかたわら五平餅を研究。食べ歩いて試作した。おいしく出来ずうまく行かなかったこともある。サツマイモもあれこれ取り寄せて試した。炭をおこして石を焼き、芋を入れる前に小一時間もかかる。手づぽを回しながら芋を焼き、「やけどもよくしました」。

そのうちたどりついた品種が、「紅はるか」。それも室に寝かせた特別の芋で「焼いた翌日に甘みが増し、冷凍して解凍するとこれがまたおいしいの」と加藤さんはうれしそうに笑った。

吉田さんは炊いたご飯から、3種類もある五平餅の生地を練る。その度に機械を洗い、五平餅を焼き、実に良くしつかりと立ち働く。

「お店にはパートナーが要ります。大事です」と、加藤さんは明るい弾んだ声で話した。お互い同世代、同じ故郷で話題は尽きない。よりもっと広いふれあいを求めて開業。お店ならお年寄りだけでなく、会社員、子連れのママ、学生も来てくれる。県外の方とも出会いがある。



左から五穀、よもぎ、お米の生地。



左3本がクルミ、右がエゴマダレ。



川向こうからやってきたお客様。

「儲けようと思えばダメ。プレッシャーになる。働いていたほうがいいです。人が来てくれる」と吉田さん。そばで加藤さんが「仕事は大変でも、お客さんはこだわりの味を求めてくれる。おいしかった、って言ってもらうのが一番！」

商売を楽しんで、人生を豊かに。お店の名前通りに、福と福が合わさったような二人でした。



ゆつくり

兵庫県姫路市 浜本礼子

美容院のドアを開けると、そこには丸い大きなテーブルに昭和の香りのする椅子。角が一寸はがれて、長い間使われてきたのがわかる。「いらつしやい」パーマをかけているお客さんの手を休め「ゆつくりして」と声をかけながら奥に入ってコーヒーをいれてきてくれた。「おばちゃん、がんばってるやん」「ふん、まーね。こうして常連さんも来てくれて嬉しいわ」手足も不自由になり、ご主人にも先立たれ、一人息子さんも遠方にいるのに、こうしてなんとか一人で気丈に生きている。「今は趣味みたいや。でも人が訪ねてくれるので、寂しくないよ」時々サロンになって、この日の夜もクリスマス会をすると嬉しそうに話してくれた。75歳になってもすることがある人って幸せ…と思いつながら店を後にした。

——「思い出すわ。花嫁さんの着付けも……」



クリスマスケーキ

香川県観音寺市 向井久江

私が小学一年生の時、親戚のおじさんからバタークリームのたっぷりついたクリスマスケーキをもらいました。その時母は、「クリスマスまで置いとこな」と、戸棚にしまったのです。翌日、私と姉は待ちきれずにこっそりとケーキを覗きに行きました。ふかし芋のおやつが嬉しかったあの頃のこと、生まれて初めてのケーキにどちらからともなく、二人で美味しそうにバタークリームを指ですくって舐めていました。甘くてやわらかいクリームが口の中で溶けて幸せでした。そうしている間に、たっぷりついたクリームは全部なくなっていたのです。クリスマスの日、戸棚から出てきたケーキを見て、母は何も言わず笑いながらケーキを切り分けてくれました。6歳ちがいで仲の良かった姉との幼い日の思い出です。

——10人兄弟の末っ子。大家族だったそうです。



みかんの缶づめ

青森市 川浪祐子

もう50年以上も前の子ども頃の話だ。私が風邪になると、親はみかんの缶づめを買ってきて、食べさせてくれた。なぜ、みかんの缶づめだったのか聞いたこともなく、いまだに知らないが、食欲も出ない時になにか…と思いついたのだろう。わかるような気がする。風邪をひいたら、みかんの缶づめ。というようにかかせない食べ物となり、私も好きで、不思議と風邪の治りも早かったように思える。

小学6年生、初めて親元を離れて宿泊する修学旅行。洞爺湖の宿で開けたバッグの中に、みかんの缶づめが1つ入っていたのには驚いた。幸い食わずに済んだので持ち帰ると、母はニコニコ笑っていた。ちなみに、わが家では長女はカルピスで、長男はいちごだった。

——うむ、お母さんのマジックみたい！



チョコレートパフェ

秋田県湯沢市 柿崎栄美子

「あのクリームがのった甘い物、レストランの見本で見たあれが食べたい」と母が言った。「チョコレートパフェのことだべ？」ピンときて聞くと、たぶんそれだと思うと返ってきた。まだ暑さの残る初秋、父が入院していた頃の話で、レストランとは病院の食堂のことだ。食べさせてあげようと思っている内に、父が亡くなり、パフェどころではなくなってしまった。冬。思い出したように、母を喫茶店に連れだし、パフェをごちそうした。冷たいアイスクリームに生クリームと、とてつもなく甘い。底の底までクリームが入り、飾り盛りも豪華で大満足でした。母は75歳にして、チョコレートパフェなる物を初めて食し、きつとまだまだ長生きしてくれるだろうと思う。それにしても寒いときのアイスは冷たかった。外に出ると、今年初めての雪が降っていた。

——「寒くても心は前向き」(母)



あーすつきりした

北海道小樽市 栗原利恵子

出産のために里帰りした娘が、臨月のお腹なのに、食器棚を開けるなり、突然かたづけると言い出しました。中には、引き出物でもらい、新品でとっておいたものもあったのですが、あまり使っていない分と共に、ほとんど全てが燃えないゴミの袋の中へ。娘のどこに、こんなパワーが潜んでいるのだろうかと驚いていると、かたづけ終わるなり、「あーすつきりした」の一声。「そんなに動いて大丈夫？」と何度も聞いても、平気らしく、あきれてしまいました。きつとお腹の赤ちゃんと一緒に、2人でしてくれましたよね。元気な子が生まれるんだと、なんだか嬉しくなりました。

——ムリしないで頑張ってくださいね。



バイリンガル

熊本県合志市 洲上美代子

私の2歳になる孫は、日本と外国を行き来しています。先日、5ヶ月ぶりに帰国した彼は、すっかり英語を話す人。「ばあちゃん、ウオータープリーズ」「ペリーグッド」「ハングリイ」など素晴らしい発音にビックリしつつ、日本語でコミュニケーションをとりたいと、少し寂しい感じでした。

それもつかの間、2週間の滞在中に、日本語の比率が高くなり、「ばあちゃん、お水ちょうだい」「お花きれいね」など、日本語での会話が多くなりました。子供って順応性が高いですね。今後は、英語も日本語も話せる、グローバルな人になって欲しいと願っています。

——で、ホワッツ・アップ？(最近いつ？)

「サンタにそっくりでしょ」



大分市 安東寿美

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●送り先
〒163-0223
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル23階(私書箱47号)

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

●No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます
<http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html>

●4～5ページの「福福」の連絡先
〒500-8864 岐阜県岐阜市真砂町5-2-2
「福福」 電話&FAX: 058-215-8783
営業時間: 10:00～17:00 定休日: 月曜日、第1・3日曜日
※夏は長期にお休み。壺焼き芋は10月～5月末まで。焼き芋は時間がかかるのでご予約ください。

あなたのお便りや
写真をお寄せください

燈々無尽

喜びの鈴
ひそやかな、思いをうちにこめてそつと、よりそう、あなたに愛のささやき、喜びの鈴は鳴りますいらいらした、とげとげした他の人を、せめあうことでもににくい、くらしの毎日からガラリと変わって、愛情いっぱいな喜びの鈴を鳴らす、くらしをしたい喜びの鈴、愛の鈴のあるところ思いやりの、美しい音色があなたをも、わたしも心豊かにしてくれることでしょう

鈴木清一

愛の輪

からのコラム
誰もが心地よい暮らしにつづ

第9回
多機能トイレは
どんな人が必要としているの？

公共施設やショッピングセンターなどにある多機能トイレ。車いすを使用する人や外見からはわからない体の内部に障害のある人、高齢者、子供連れのお母さんが利用しやすい広さや手すり、内部に障害がある方専用の機能、おむつ替えシート、ベビーチェアなどがあり、必要とする人に配慮されています。お互いに譲り合って気持ち良く利用したいですね。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 HP (<http://www.ainowa.jp/>)
愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、海外での研修支援を行っています。

Pen特別賞

ダスキン特別賞

グランプリ

大野拓朗賞

「SAVE ENERGY」

「みんなで育てる未来」

「わたしのお気にいりをあなたにあげる!」

「英国紳士の休日」

ダスキンCM出演中の俳優、大野拓朗さんが選んだエコTシャツです。

(ダスキン環境シンボルマーク)

エコのタネ
身近に、未来に、エコのタネまき。

ダスキンと雑誌「Pen」のタイアップ企画、「DUSKIN×Pen エコTシャツデザイン大賞」のグランプリが決定しました。ダスキンの環境スローガン「身近に、未来に、**エコ**のタネまき。」をテーマに、応募作品1,708点から40点を選んで一般投票を行い、21万票を超える投票がありました。詳しくは、「ダスキン エコT」で検索してください。

ダスキンのお客係募集中!!

詳しくはwebで

お客係

検索

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



携帯からもアクセス

お楽しみクイズ

ダスキンの環境スローガン
「身近に、未来に、」の続きは?



のタネまき。



正解者の中から50名様に
「キッチンAセット」を
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

●ハガキに

- ①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢
- ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご利用のダスキン店名
- ⑨この新聞内で好きなコーナーをご記入の上、下記あて先までお送りください。

●クイズ専用のあて先 ※郵便番号とあて先のみで届きます。

〒163-0265

住所は不要です。

(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.525」

クイズプレゼント係

●締め切り 平成25年1月25日(金)当日消印有効

●ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

●当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
(平成25年2月中旬お届け予定)

●応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

no.523のクイズの答えは「レア(メタル)」でした。

株式会社 **ダスキン**

発行：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp

●この新聞をお届けしているのは